

年間約10億円の コスト課題から見た、 「HESTA ロードヒーター」による解決策。

消融雪道路設備は、散水消雪させる設備と、
電熱線を用いたロードヒーティング設備の2タイプに分かれます。
散水消雪設備は、コストを比較的安く抑えることができますが、
多くは地下水を用いるため、地盤沈下や水質由来の塩害等の弊害があります。
また極寒冷地では、パイプの凍結により散水式を採用する事は不可能です。

一方、電熱線式ロードヒーティングでは、地下水や場所による弊害はありませんが、
そのコストの高さから財政を圧迫、使用を停止する地域も少なくありません。
札幌市内では、年間10億円弱がロードヒーティング設備に費やされており、
故障・老朽化した設備の改修費用の確保が困難な状況です。

**高効率加熱&長寿命な「HESTA ロードヒーター」へ更新することで、
ランニングコストの大幅な軽減、コスト問題の解決が期待できます。**



高効率加熱&長寿命でランニングコストを軽減

「HESTA ロードヒーター」は、遠赤外線熱放射にて熱を伝えます。加熱効率が非常に高く、加熱時間が短くて済むので省エネ効果が高まります。また従来広く使われているニクロム線やPTCヒーターは、性質上いつか必ず断線するうえ、物理的損傷を与えられるとヒーター機能を失い燃焼してしまうリスクがあります。

「HESTA ロードヒーター」は、断線する事はなく物理的な損傷を与えられたとしても、一部の機能を失うだけで全体的な機能が損なわれる事はありません。これらの性質上、長期的にコストを抑える事が可能です。



専用アプリで融雪状況を確認

スマートフォンで融雪の状況や温度などを確認・調節できる専用アプリが登場。離れた場所や目視が難しい場所でも、アプリ内で融雪状況を確認できスマートに管理可能です。



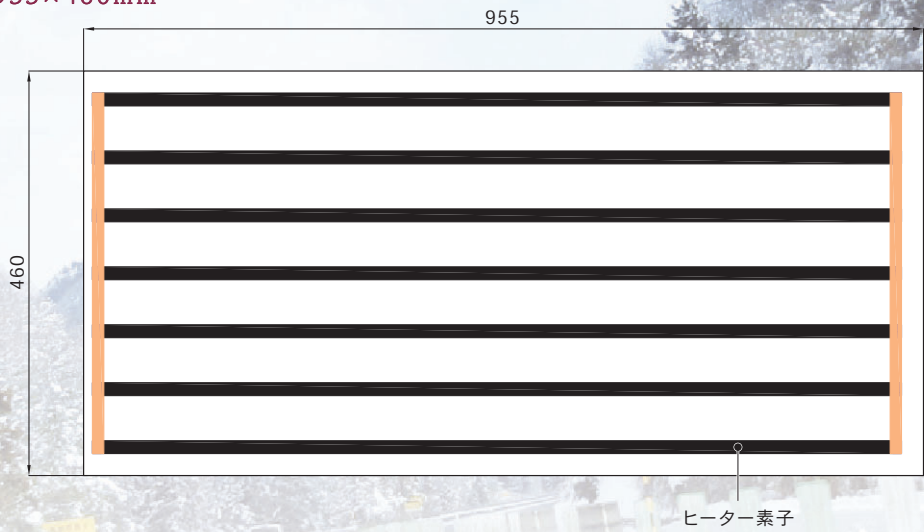
HESTA ROAD HEATER

グラフェン 道路融雪システム

HESTA ROAD HEATER

HESTA ロードヒーター 製品仕様書

■ヒーター外形寸法：955×460mm



■外形寸法：1000×500mm



外形寸法	仕上げ	電圧	消費電力
500×1000mm	シリコンゴム	AC200V	125W

○電気料金目安〔HESTA ロードヒーター(10㎡)〕

仕様 (250W/㎡) ・面積 (10㎡)		使用電力量 (1ヶ月)	電力量料金
サイズ・数量	消費電力		
500×1000mm・20枚	2.5kW	312.5kWh	10,618円

敷設電力の目安	1月・2月における 日最低気温の平均	設計最大降雪量 (cm/h)	標準敷設電力 (W/㎡)		該当地域 (例)
			車道・歩道	高架橋	
	-6℃	2.0	200	250	東北南部・北陸
	-10℃	2.5	250	300	道南・道央・東北山間部
	-15℃	3.0	300	350	道東・道北

1ヶ月150時間(実質125時間) 使用時の料金(1日5時間稼働×30日) / HESTA制御: スローモード設定(通電25分・停止5分) / 北海道電力 従量電灯C(280kWhをこえる分・1kWh33.98円で計算) 基本料金、燃料調整費、再エネ賦課金、消費税は含まれておりません ※シミュレーションはあくまでも目安であり保証するものではありません。気象状況、設置場所、設定条件、使用状況により変わる可能性があります。